

人権について考える

12月1日から12月15日は校内人権旬間でした。この期間、村の人権フェスティバルもあり、4・5・6年生が河原小の取組について発表し♪ともだちになるために♪を手話付きで披露しました。また12月11日の授業参観は、人権学習か性教育の内容を全学年公開しました。12月15日は校内人権集会でした。それぞれの学年の発達段階にあった教材で学習した内容や日常生活と重ねて考えたことなどを発表しました。私自身もそうですが、「差別はいけない」とか「いじめはダメ」とか、口では当たり前のように言っているけれど、ときどきふっと自分自身の心にドキッとすることがあります。子どもたちの日々の生活の中でもいろいろなことが起こっているし、自分の言動にドキッとしていることに子どもたち自身気づいています。以下は校内人権集会の中の発表で出てきた内容です。



村人権フェスティバル

- ★ホントはいやと言いたかったけど言えなかった。
- ★人が言うのを聞いて確かめもしないで、「そうだ！そうだ！」と一緒に言って言った。
- ★自分の気持ちをごまかしているところがある。
- ★「それ、いかんよ。」と思っても、ここで注意するとみんなに言い返されると思って言えなかった。
- ★きつく言われてイヤだったけん、悪口を言った。
- ★ちょっかいを出して「やめて」と言われてもやめなかったことがある。
- ★自分には何でもないことでも相手は傷ついていることがあると気づいた。
- ★人によって態度を変えているときがある。
- ★誰かにだけ厳しく言うときがある。
- ★巻き込まれたくないと思って黙っていたことがあった。

こんなことに気づいている子どもたち、すごいなあと思います。楽しいことばかりじゃないけど、嫌なことを言ってしまったり、泣きたいこともあったりするけれど、その都度、しっかり自分の心に向き合い、振り返って考えてほしい。話し合ってもらいたい。そんなことの繰り返しがいじめをなくすことだと思えます。

確かめた？
本当に見たこと 聞いたこと？

～平成26年度 熊本県
人権メッセージ作品集より～



応援の力ってすごい!

持久走大会では、沿道の応援、本当にありがとうございます。多分、練習中からおうちの方々の励ましがあってのことと思います。今年は天候



の関係でスタート・ゴールの場所を変えました。というわけで滝川橋での子どもたちの応援になりましたが、これまたランナーにとっても本人たちにとってもよかった！岩木さんの先導でタイムもずいぶん縮まったようでうれしい持久走大会になりました。

持久走大会12/11



5年生 親子料理教室 3年生 豆腐づくり



5年生は山西小の菅田栄養教諭や食生活改善委員さんを講師に今話題のおにぎらずなどの調理を！3年生は丸美屋の福永さんを講師に豆乳とにがりから豆腐づくりを！体験させてもらいました。とっても貴重で楽しい体験になりました。毎日おいしい給食をいただいているのですが、子どもも大人も食に関心を持ち、うれしい！楽しい！おいしい！をたくさん味わいましょう。



河原小だより

12月

NO.7
H 27. 12. 22

西原村立河原小学校
文責：草場ルミ子



河原小の給食は、これまで私が食べた給食の中で一番おいしい給食です。食べる環境も最高です。ランチルームでいろいろな学年に混じって給食を食べますが、子どもたちの姿を見るのが私の楽しみの一つです。野菜が苦手な子、豆が苦手な子、お母さんが大好きな子、大学芋が大好きな子など様々です。先生たちは、まずはお母さんやお父さんのように「お替わりは？」と声を掛けています。給食委員会の献立紹介や保健委員会のハンカチ調べ、放送委員会の学校クイズ、企画委員会の昼休み紹介や遊びのお知らせなどもあります。下級生は上級生を見て学びます。河原小では幸せな給食のひとつです。こんなに恵まれた学校はありません。

ご家族でうれしい！楽しい！おいしい！冬休みを過ごしてください。